

## 比 SEMPHIL 社向け窒素ガスプラント 2 号機の稼動開始

アジア・オセアニア事業会社の 1 つ、ニッポンサンソインガスコ (NS インガスコ)は、フィリピン Batino の Calamba Premiere International Park 内に 2 号目となる窒素ガスプラントの稼動を開始しました。同プラントは、NS インガスコの子会社であるニッポンサンソインガスコ フィリピン (NSI-PH) が所有するもので、世界的な電子部品の開発・製造会社であるサムスン電機グループである Samsung Electro-Mechanics Philippines Corporation (SEMPHIL 社) 向けに約 1km の埋設配管を通じて窒素ガスをパイピング供給しています。

SEMPHIL 社には、1 号機 (NSI-PH 社所有) が 2017 年 11 月より窒素ガスを供給していますが、窒素ガス需要の高まりに対応するべく、今般、2 号機を増設しました。

NS インガスコ社長の Raymond Chu は、「今回の投資は、NS インガスコグループによる SEMPHIL 社へのコミットメント、またフィリピン経済の回復と成長に対する信頼の証でもあります」と述べています。NS インガスコグループはルソン島に 3 つの空気分離装置を有して、あらゆる産業向けに液化酸素、液化窒素、液化アルゴンなどの産業ガスを供給しており、更にオンサイトプラントの運用を支援する基盤にもしております。これら空気分離装置による充実したバックアップ体制、大陽日酸製窒素製造装置を採用したオンサイトプラント方式、そして同社の高度な訓練を受けた経験豊富な技術者が運転・保守を行うことで、ガス供給先に高品質な窒素ガスの安定した供給を可能にしており、フィリピン国内に 10 基以上の窒素ガスプラントを所有、設置しております。

日本酸素ホールディングスグループは今後も事業会社を通じガスの安全・安定供給体制を更に充実させ、各地域の産業の発展と企業価値の向上をめざして参ります。



SEMPHIL 社向け窒素ガスプラント 2 号機

以上

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513